

米国マーケットの最前線

-経済動向から日本への影響まで-



2014/7/18

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

マネックス証券株式会社
www.monex.co.jp

米国の住宅部門は再び先行きがやや不透明に

| | | | |
|------------|-----------|--------------|-----------------|
| 住宅着工件数 | 6月 89.3万件 | 市場予想 102.0万件 | 前月 98.5万件(下方修正) |
| NAHB住宅市場指数 | 7月 53 | 市場予想 50 | 前月 49 |

※住宅着工件数は年率換算・季節調整済

■住宅着工件数は極端な落ち込みも先行指標は高水準

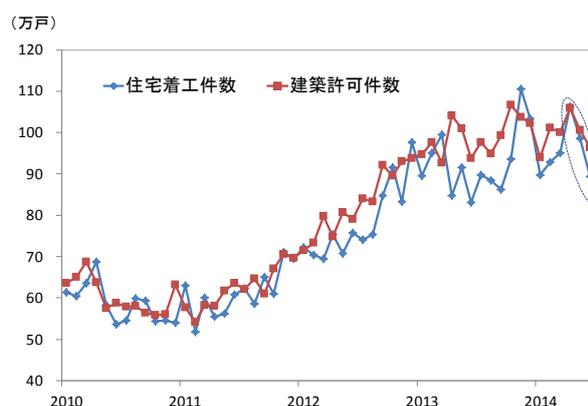
17日に発表された6月の住宅着工件数は年率換算89.3万件と前月から9%以上落ち込み、2013年9月以来の低水準だった。同時に発表された建築許可件数も落ち込み幅は着工件数に比べて少なかったものの、同様に先月から減少した(グラフ参照)。

一方、16日に発表された、不動産建設業者の景況感を表し、より先行性が高いとされるNAHB住宅市場指数の7月分は、53と今年の1月以来6ヶ月ぶりに改善と悪化の基準となる50を超え、市場予想を上回った(グラフ参照)。

当レポートでも何度か記してきたように、住宅市場は寒波の影響による落ち込みからの回復が鈍かったが、4月以降ようやく持ちなおしの兆しを見せていた。ただ、ここへきて、より先行性が高いとされるNAHB住宅市場指数は改善した一方で、着工件数は大幅な落ち込みとまちまちな結果となったことで、住宅市場の先行きはやや不透明となった。

米国の住宅部門は、「関連消費の拡大」と「住宅価

住宅着工件数と建築許可件数の推移



(出所)マネックス証券作成

NAHB住宅市場指数



(出所)マネックス証券作成

格上昇による資産効果」という2つの点で景気押し上げ効果があり、経済全体への影響力が大きい。来週は住宅価格指数や中古・新築住宅の販売件数といった重要指標が続々と発表される。それらの結果については改めてレポートしたい。

■用語解説

住宅着工件数

米国内で建設が開始された住宅戸数を示す、住宅関連の経済指標。個人消費の動向を見極める上での先行指標として注目される。

NAHB住宅市場指数

NAHB（National Association of Home Builders 全米住宅建設業者協会）が発表する米国の不動産業者の景況感を表す指標。今後の販売予測について不動産業者にアンケートをとり、50を基準として上回れば改善（ポジティブ）、下回ると悪化（ネガティブ）見通しとなる。

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会